

都市再生整備計画 事後評価シート
岸和田駅東地区

令和2年1月
大阪府岸和田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	岸和田市	地区名	岸和田駅東地区(地方都市リノベーション事業)		面積	36.5ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1,682百万円	国費率	0.50	

1)事業の実施状況	当初計画に位置付け、実施した事業		事業名					
	基幹事業		道路(地方都市リノベーション事業)(市道岸和田駅東停車場線、市道岸和田泉光寺線)、地方都市リノベーション推進事業(新市立福祉総合センター)					
	提案事業		なし					
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし					
		提案事業	なし					
新たに追加した事業	基幹事業	なし						
	提案事業	なし						
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		福祉総合センターの利用人数について、年間増加人数10,000人がセンター完成時期(H29年)まで追加され目標値が200,000人から210,000人に変更		
		変更	平成26年度～平成30年度					

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	ともに支えあう関係が地域にあると感じている市民の割合	%	28.5	H24	38.0	H30	36.3	△	あり	・地域福祉活動は活発化しているが、広く一般市民に対して福祉総合センターの整備や高度化・多様化した機能を十分に周知できなかったことが、未達成の直接的理由と考えられる。 ● また目標値を意欲的に高めに設定したことも要因の一つと考えられる。	令和3年7月
指標2	高齢者が安心して生活できていると感じている市民の割合	%	18.1	H24	27.0	H30	22.2	△	あり	・高齢者に向けたサービスは充実しているが、広く一般市民に対して高齢者福祉の拠点としての周知が十分にできなかった。 ● また、社会的関心が「高齢者の安心」にマイナスに作用したことで、満足度向上の妨げとなった。	令和3年7月
指標3	安心して歩道を通行することができると感じている地域住民の割合	%	23.0	H24	32.0	H30	28.2	△	あり	・通行の安全性について地域団体と協働の取組を実施するとともに、道路の安全対策整備を講じたため、整備前より歩道を通行する自転車が減少に転じ、安全に歩けるようになった。しかしながら、完全に歩道から自転車を排除できず、マナー、ルールを守らない自転車、車の運転が後を絶たないため、満足度は向上したものの目標値まで至らなかった。	令和3年7月
指標4	福祉総合センターの利用者数	人/年	155,095	H24	210,000	H30	210,235	○	あり	・新市立福祉総合センターの整備により、従来施設の機能向上と、施設の集約化による利便性の向上等により、利用者数の増加が図られた。 ● また、福祉総合センターへのアクセス道路が改善されたことにより、アクセシビリティが向上し、利用者が増加した。	

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	ボランティア登録団体数	団体	30	H24			38				・新市立福祉総合センターの整備により、従来施設の機能向上と、地域福祉活動の拠点機能強化により、ボランティア登録団体の増加が図られた。	
	その他の 数値指標2	福祉総合センターの利用登録団体数	団体	79	H24			222				地域福祉活動の拠点施設として、機能・利便性が向上し、利用登録団体の増加が図られた。	
	その他の 数値指標3	困ったときに近くに相談できる人や場所があると感じている地域住民の割合	%	29.1	H26			39.7				総合的な福祉サービスが提供できるようになり、幅広い世代の人が利用できるようになった。	
	その他の 数値指標4	サロン活動へ参加した高齢者数	人	234	H24			1,423				地域の地区福祉委員会が実施するサロン活動が活発化し、参加者の増加が図られ、今後も高齢者の生きがいづくりやなまづくりの場となることが期待される。	
	その他の 数値指標5	歩道内を通行する自転車通行量の比率	%	83.2	H28			69.3				自転車レーン設置、歩道整備等が行われたことで、歩道内を通行する自転車が減少し、歩道の安全性が高まった。	
	その他の 数値指標6	歩行者・自転車交通事故発生件数	件	500	H24			347				・自転車レーン設置、歩道整備等が行われたことにより、市内の歩行者・自転車交通事故発生件数の減少に寄与した。	
4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉総合センターの利用者間で交流が生まれ、新たなまちづくり活動につなげることができた。 ・自転車レーンや歩道、路肩カラーが整備されたことで、通行区分が明確化され、岸和田駅東周辺地区の安全かつ円滑な通行に寄与している。また、商店街の沿道に路肩カラーを設けたことにより、店舗への訪客の安全性が向上したとともに来客誘致につながった。 ・地域の防災拠点として活用され、地域住民が防災ワークショップに参加するなど、防災意識の向上に寄与している。 												
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					
	住民参加 プロセス	岸和田市社会福祉審議会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 福祉総合センターの管理・運用方法について協議する。					
持続的なまちづくり 体制の構築	岸和田駅東地区景観まちづくり協議会による景観形成活動 岸和田ファミリーロードプログラムによる美化活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 岸和田駅東地区景観まちづくり協議会については、新たな若い世代の参入も含めた、持続可能な地域主体の運営を行うことで、歩行者が安全で快適に通行できる空間づくりを目指した活動につながるよう支援する。 岸和田ファミリーロードプログラムについては、街路樹・植樹帯の管理を含め地域で愛される道路にすることを目標に、美化活動を支援する。						

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値		
		値	年	値	年	値	年	
駅前の公共公益施設建替を契機とした、市の玄関口にふさわしく、人に優しい魅力まちづくり	ともに支えあう関係が地域にあると感じている市民の割合	単位：%	28.5	H24	38.0	H30	36.3	H30
	高齢者が安心して生活できていると感じている市民の割合	単位：%	18.1	H24	27.0	H30	22.2	H30
	安心して歩道を通行することができると感じている地域住民の割合	単位：%	23.0	H24	32.0	H30	28.2	R1
	福祉総合センターの利用者数	単位：人／年	155,095	H24	210,000	H30	210,235	H30



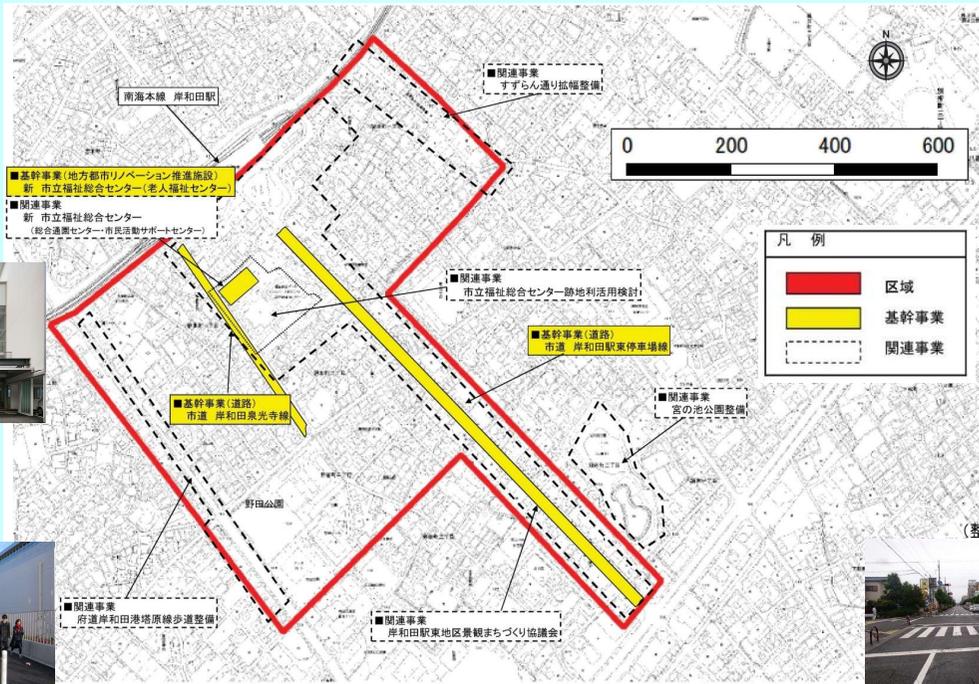
▲ 基幹事業
新市立福祉総合センター(老人福祉センター)



△ 関連事業
新市立福祉総合センター
(総合通園センター・市民活動サポートセンター)



▲ 基幹事業 市道 岸和田泉光寺線



△ 関連事業
岸和田駅東地区景観まちづくり協議会
(花いっぱい推進プロジェクト)
(クリーン活動大作戦)



▲ 基幹事業 市道 岸和田駅東停車場線



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難場所である新市立福祉総合センターの建替えを図ることができ、公共施設の機能の集約・増進を図ることで、施設の機能強化と総合的な療育が実現できた。 岸和田泉光寺線の歩行者空間整備により、歩行者の安全確保を図り、岸和田駅南口に位置する商店街への回遊性向上を図った。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する福祉ニーズに対応できるよう、市民活動支援および地域福祉を推進する。また、併せて福祉総合センターの機能や提供サービスのプログラムPRを行う。 防災の拠点施設として維持・管理に努め、住民に対して継続的に防災意識を啓発し、地域における防災活動を支援する。 安全で快適な歩行空間を維持するため、市民活動を支援し、交通マナーを意識を高めるため、啓発活動を行う。 地域住民以外の市民が駅周辺の商店街を訪れるよう、イベントの支援やサービス情報の発信を行う。